

カギ番人 小型で便利な 鍵の保管庫

訪問介護を利用しているけれど、足が悪くてヘルパーさんが来ても自宅の鍵を開けられない。ヘルパーさんに鍵を預けると紛失してしまわないか心配。複数の訪問介護サービス事業者を利用しているので一つの事業者に鍵を預けられない等の悩みを抱えておられる方に大変便利な商品です。南京錠型押し式で中に自宅の鍵を入れて安全に保管することができます。カギ番人プラスは鍵だけでなくカードも保管しておくことができます。



▲カギ番人プラス



定価の2割引で販売しております。

お問い合わせ 介護ショップKPG TEL:072-260-3077

介護用品
だより

訪問介護の現場でも大活躍の便利グッズ

薬のちょっと困った作用(副作用)に関する情報をこのコーナーで紹介します。

クスリスク

kusurisk



春になって花粉の季節がやってきました。

鼻づまりで悩む人に欠かせない点鼻薬が活躍する季節でもありますが、今回は血管収縮剤入りの点鼻薬の使い過ぎで起こる薬剤性鼻炎についてお話したいと思います。

鼻腔内の空気の流れは鼻の粘膜にある血管内の血液量によって調節されています。しかし、血液が過剰に溜まると粘膜が腫れ、鼻汁の分泌も増えるため鼻づまりとなります。この血流を減らすために使用されるのが点鼻薬です。点鼻薬にはいくつか種類がありますが、中でも血管収縮剤が含まれている点鼻薬を使用すると血管が収縮し、粘膜の腫れが解消されます。そして、鼻づまりが緩和されるという仕組みになっています。しかし、鼻の粘膜の腫れが取れるのはあくまで一時的なことで、しばらくして薬の効果がなくなると、再び血液が血管の中に戻り鼻がつまってきます。そこで、もう一度同じ点鼻薬を使うことになり、この繰り返しが続きます。点鼻薬を長期間使い続けているうちに使用前より血管が固く腫れ、以前のように血管収縮剤を使用しても、鼻づまりが取れなくなってし

薬剤性鼻炎
注意が必要な点鼻薬



まいます。これが薬剤性鼻炎です。効かないために何度も点鼻薬をさすという悪循環に陥り、ますます鼻炎がひどくなっていくのです。

鼻アレルギー診療ガイドラインでは、血管収縮剤入りの点鼻薬は、鼻づまりが極端にひどい重症の鼻炎の場合に限り、1日1~2回を限度に、1~2週間を目安として使うように書かれています。そして、この間に他の薬剤やステロイドの点鼻薬の治療を併用し、鼻炎が軽症化してきたら、ただちに血管収縮剤の使用を中止すべきであるとされています。薬剤性鼻炎の治療法は、血管収縮剤入りの点鼻薬の使用を1~2週間で完全にやめることです。やめてから1~2週間すると、血管自体への直接的な悪影響は消失するといわれています。

血管収縮剤入りの点鼻薬を長く使い続けることはご注意ください。使用にあたっては1~2週間以内、1日2回までを限度とし、薬の効き目が悪くなった、もしくは、逆に鼻づまりが強くなったと自覚した場合は、使わないことを心がけるようにしましょう。

※トラマゾリン点鼻液などが該当します。